



橘 智子さん(中家村)

地域の見守り活動について、小学生と中学生のお子さんを持つ橘さんにお話を伺いました。

地域に見守られて

たくさんの方々が通学路に立って、子どもたちの登下校を見守っていただいていることに感謝しています。

私も子ども会の役員として通学路に立って、地域の子どもの登下校を見守ることがありますが、保護者だけでは限界があるので、地域の方々の見守り活動は本当に助かります。

地域の皆さんが、地域に住む子どもたちの顔を覚えてくださって、「いつも同じ時間に通る子が今日はちょっと遅いけれど何かあったのかな」、「この子でここを通る子は最後だな」と、いつも子どもたちのことを気にかけてもらえることがありがたく、子どもたちが地域の皆さん



朝の登校指導

子どもたちの安全を

みなみ地区は、これからの皆さんの住宅が建ち、人口が増えていく中で、通学路も変わっていくと思います。

新たに誕生した街でも、開成町の良さである地域のつながりの強さを生かして、子どもたちの安全を守っていければと思います。

に育てられているんだなと感じます。

以前、地域の方から、「子どもたちのあいさつや笑顔に元気をもらっています」と言われ、大変うれしく思いました。普段、なかなか感謝の気持ちを伝えられないので、積極的に伝えていきたいですね。

交通事故ゼロをめざして 町民総ぐるみで子どもたちを見守りましょう！

環境防災課 ☎84-0314

4月は、新入園・新入学の子どもたちが通園・通学を始める時期です。自宅から学校までの通学路を家族で歩いて、危険な場所や注意しなければいけない場所を、お子さんと一緒に確認してみてください。また、大切な子どもたちの命を守るためには、家庭での交通安全教育だけでなく、地域での見守り活動が重要です。町民総ぐるみで子どもたちを見守り、交通事故から守りましょう。



横断歩道に立ち、歩行者の安全を守る指導隊



左から、嘉山由之さん(榎本)、福井恵美子さん(円中)、武藤さかえ隊長(金井島)、永井智子さん(下延沢)

子どもたちを対象にした「交通安全教室」などを行っている交通指導隊の武藤隊長にお話を伺いました。

交通事故ゼロをめざして

交通事故をなくすためには、お互いを思いやる気持ちが必要です。ドライバーには、小さな子どもが死角から急に飛び出してくることを想定して、交差点で速度を落とすなど、常に「もしかしたら」を想定しながら運転していただきたいと思います。また、夕暮れ時は早めにライトを付けることも交通事故の発生を減らすことにつながります。

交通指導隊の活動

交通指導隊は、交通安全と交通徳の普及高揚を図るために、昭和53年に発足しました。現在は、町内在住の15人の隊員で活動しています。

隊員は、児童・生徒への「登校指導」や「交通安全教室」、「交通啓発キャンペーン」に出動しています。

また、カーブミラーの清掃・点検なども行っています。



指導隊による交通安全教室

地域で取り組む交通安全

毎月1日と15日の「登校指導」には、たくさんの方々が町内の交差点や横断歩道での見守り活動に参加されています。

こうした地域のつながりの強さによって、町の交通安全が守られているのだと日々感じています。

交通安全子ども自転車神奈川県大会へ出場！

開成南ドウィアワベスト (開成南小6年生チーム)

開成町は、自転車の安全な乗り方足柄上地区大会に毎年参加し、7年連続で優勝しています。

大会では、交通ルールに関する筆記テストと実技テストが行われます。優勝をめざして勉強したり、安全な自転車の乗り方を練習したりすることで、交通ルールを学ぶ大切な機会としています。

昨年地区大会で優勝した「ドウィアワベスト」の皆さんは、夏の県大会に向けて練習を始めています！ぜひ、応援してください！



交通安全で心掛けていることを聞きました



近藤 杏音さん(下島)

自転車を運転する時には左右だけではなく、後方確認をしています。



高橋 利里愛さん(中家村)

横断歩道では自動車を運転している人に分かるように大きく手を挙げています。



志子田 真優さん(中家村)

信号機が点滅している時には無理せず次の信号を渡るようにしています。



高橋 優太さん(下島)

踏切を渡る時は絶対に左右確認、複数で歩いている時は絶対に広がらないように心掛けています。